

市議会がしっかりチェックします 足利市の令和4年度予算

こんなことをやっています



令和4年度の予算説明書

予算は市長が作成し、それを住民の代表である議会が審査し議決することによって成立します。そのため、一般会計や特別会計など足利市の令和4年度予算として示された230ページに及ぶ予算書等を、2日間にわたり、合わせて約13時間かけて、丁寧かつ慎重に審査を行いました。



予算審査特別委員会の様子



予算を丁寧かつ慎重にチェック

予算審査特別委員会の委員長にインタビューしました

予算について 市議会の役割とは

予算は市長が案をつくり、市議会がしっかりチェックして決定します。特に令和4年度の一般会計の総額は537億円で過去3番目に大きな規模でしたので、委員長として責任の重みを感じました。

どのような審査を行いましたか

令和4年度の予算は、市制100周年を迎えた本市にとって次の100年に向けてスタートするための重要な予算です。新型コロナウイルス感染症対策や産業界の向上、人口減少対策といった山積する様々な課題への対応など、

2日間をかけて慎重に審査しました。

新しい取り組みは

議論を深めるため、新たに予算全体の基本的な考え方を質疑する場として、「総括質疑」を設けました。市長の予算編成に当たっての思いを問うなど、政策的な議論を行うことができたと思っています。

市民の皆さんへ お伝えしたいことは あります

市民の代表として私たちの税金がどのように使われるのか、本当に必要なお金なのかといった視点から入念な審査を行いました。これからも足利市の発展のため、皆さんの声に耳を傾け、市政に反映できるように努めます。

特別会計とは？

介護保険や国民健康保険などの特定の目的のため、保険料や使用料などの特定の収入で運営していく事業の会計のことをいいます。お金の出入りをはっきりさせるため、一般会計と別に管理しています。

一般会計とは？

市の基本的な仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）を行うための会計のことをいいます。

予算とは？

足利市に1年間に入ってくるお金である収入と、その使い道である支出の見積りのことをいいます。

予算審査特別委員会とは？

市長から提出された予算案を審査するため、全議員を構成員として設置される特別委員会のことをいいます。足利市議会では毎年3月定例会に設置されます。



令和3年度委員長
柳 収一郎



副委員長
鶴貝 大祐